



2023年6月28日

各位

会社名 サイバートラスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 北村 裕司
(コード番号：4498 東証グロース)
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也
(TEL 03-6234-3800)

2023年3月期 決算に関する質疑応答集 3

当社の2023年3月期決算に関して、これまで株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。
なお本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

Q1 Red Hat 社が発表しましたソースコードの開示制限（以下、本件）により、当社が開発に携わる MIRACLE LINUX ならびに AlmaLinux に関して、どのような影響がありますか？

まず、開発手法が異なることから本件に関する MIRACLE LINUX への影響はありません。
AlmaLinux につきましては、The AlmaLinux OS Foundation が、関連企業、コミュニティと対策を検討しており、提供のタイミングや品質に影響が生じないように開発を行うことを発表しています。

次に、本件と関係する事項として、2023年5月22日に発表しましたグローバル提携について改めて説明します。本提携はコミュニティへの貢献と、収益の獲得と2つの目的があります。

一つは、The AlmaLinux OS Foundation という国際的コミュニティへ参画し、MIRACLE LINUX にて培った技術により、コミュニティへ貢献するとともに、当社の技術力を向上させることを目的としています。

CentOS、MIRACLE LINUX や AlmaLinux など Linux OS は無償ライセンスで提供されるものであり、当社は Windows 等商用 OS のように OS 自体を販売して対価を頂くビジネスはしておりません。
本件により影響を受ける可能性があるのは、このコミュニティにおいて開発している AlmaLinux OS であるため、当社業績への影響はございません。

もう一つの目的は、CloudLinux 社との提携により、システムを停止せずに脆弱性パッチなどのソフトウェアが適用できるセキュリティ向上サービスなど同社の付加価値あるサービスを当社が提供できることにあります。

国際的コミュニティによる成果物で対価を得るビジネスとして、当社はサポートサービスを提供しており、これまでも CentOS の延長サポートを提供しておりますが、同社との提携によりさらに付加価値あるサービスの提供が可能となります。

本件は、CloudLinux 社と当社の提携には直接的な関係はないため、本件による2024年3月期を含む中期経営計画に特に影響はないものと考えております。

もっとも本件については国際的に活発な議論がなされているところであり現在精査をしております。今後もし開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

Q2 2025年3月期までの中期経営計画を達成した後の計画について、どのくらいの成長率を見込んでいますか？

現在は公表している25年3月期の中期経営計画の目標達成にむけ事業を進めています。その後の26年3月期からの中期経営計画については、その発表とともにご説明させていただく予定です。

- * MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、サイバートラスト株式会社の登録商標です。
- * AlmaLinux は、The AlmaLinux OS Foundation の商標です。
- * Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- * 登録商標 Linux®は、Linus Torvalds から排他的ライセンスを受けている The Linux Foundation からサブライセンスを受けて使用しています。
- * CentOS および Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。
- * その他本文書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

以上